基本目標3　一人ひとりに寄り添い『未来』へつなげるまちづくり

実現するためにめざすこと	施策・事業	取組内容	令和６年度実績	進捗状況	課題等	Withコロナ アフターコロナを踏まえた事業内容の見直し	今後の方向性	担当部署
１　一人ひとりに寄り添う相談体制をつくる	１　福祉総合相談窓口（総合案内）の設置	福祉に関する困り事を中心に、さまざまな悩みや相談を聴き、適切な相談先へつなぐ福祉総合相談窓口（総合案内）の設置を検討します。	⑪包括支援センターの体制を再編し、相談支援体制の強化を図ったが、総合相談窓口の検討は行わなかった。 ⑬今年度、協議を実施しなかった。	△計画より遅れている	⑪基幹型地域包括支援センターが中心となるが、部内の協議が必要。 ⑬地域包括支援センターが各となるとおもわれるが、どのような形で関わっていくか。	⑪無し ⑬無し	検討	⑪高齢者支援課 ⑬社会福祉課
	２　民生委員・児童委員活動への支援	「民生委員児童委員協議会」の活動に関する経費について、補助金を交付します。また、民生委員・児童委員活動に必要な情報を提供し、活動を支援します。	⑬民生委員児童委員協議会補助金を交付し、民生委員児童委員協議会活動の支援を行った。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑬民生委員の確保	⑬無し	維持	⑬社会福祉課
	３　包括的支援事業	介護予防ケアマネジメント、総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント業務を行う「地域包括支援センター」を委託・運営するとともに、機能の強化を検討します。また、身近な所で相談を受け付けて地域包括支援センターへつなぐための窓口（ブランチ）業務と高齢者福祉サービスの実施を、市内７か所の社会福祉法人（「在宅介護支援センター」）へ委託します。	⑪R6.4.1より、直営の基幹型地域包括支援センターと今まで２つの圏域で分けていた地域包括支援センターを4つに分け体制を整え機能の強化を図った。また連絡会を4回開催し情報共有と課題の共有を図った。在宅介護支援センターでの会議も開催し連係を図った。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪地域包括支援センター、在宅介護支援センターの体制が整い、今後は個別ケア会議の充実、地域課題の解決に向け取組が必要である。	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課
	４　教育相談の実施	不登校や養育に課題のあるケース（虐待を含む）に対して学習サポートや相談業務を行い、家族も含めた支援を行います。	⑨教育相談件数　２,１９８件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑨ケース数の増加と共に学校復帰をする子ども達が増えてきた。復帰する前の学校の受入体制の整備（教師の意識、在校時間の調整、保護者面談等）を丁寧に行う必要が生じ連携強化が課題である。	⑨面談等を積極的に行い、保護者の意向や子どもの意向を聞き取り、支援の内容に活かしていく。	維持	⑨子ども教育課
２　困りごとを抱える人をみんなで支える	１　生活困窮者の自立に向けた支援	生活保護に至る前の生活困窮者への「住居確保給付金」の支給や就労支援等を行い、自立に向けた支援を図ります。	⑬事業契約者数（延べ）　１６人 新規相談受付件数　５７件 住居確保給付金支給件数　０件	△計画より遅れている	⑬昨今の多様な相談により期限内にプランを終結することが出来ず、長期的な支援になる傾向にある。住居確保給付金は、制度周知不足と対象申請要件もあり、相談は１件あったが、申請には至っていない。	⑬無し	廃止	⑬社会福祉課
	２　ＤＶ緊急避難の支援	配偶者からの暴力を受けた被害者とその家族に、緊急避難のための緊急的一時保護、避難費を支給し、被害者の保護を図ります。	⑨緊急一時保護　0件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑨緊急避難先の確保	⑨無し	維持	~~⑬社会福祉課~~ ⑨子ども教育課
	３　「社会を明るくする運動」の実施	保護司や更生保護女性会と共に「社会を明るくする運動」を実施し、犯罪や非行の防止と犯罪をした人たちの更生、再犯防止を呼びかけます。	⑬市内小中学校に「社会を明るくする運動」作文コンテストの作品を募集し、小学校から４９人、中学校から１９２人応募があった。 また、７月の強化月間にキャラバンを行い、併せて回覧による広報で「社会を明るくする運動」の周知を図った。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑬効果的の啓発方法の検討	⑬無し	維持	⑬社会福祉課
	４　障害者虐待防止対策の実施	障害者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、その後の適切な支援を行うため、「障害者虐待防止センター」へ委託し、地域の関係機関等の協力体制の整備や支援体制の強化を図ります。	⑬「市虐待防止センター」の運営を民間事業者に委託し支援体制の強化を図った。 通報件数　１５件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑬無し	⑬無し	維持	⑬社会福祉課
	５　高齢者虐待防止対策の実施	高齢者虐待の早期発見と防止を図るため、「高齢者虐待防止ネットワーク代表者会議」を開催します。	⑪高齢者虐待防止ネットワーク代表者会議開催 R7.2.12	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪更なる意見交換、経験の積み重ねの手段としてケースの検証等を検討する	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課
	６　児童虐待防止対策の実施	児童虐待の早期発見・早期対応と不適切な養育や虐待の予防に関る児童の見守りを、「教育相談センター」と各小中学校・子ども園等や児童相談所・警察等関係機関が連携して行います。また、児童虐待防止については、子育て世代包括支援センターや教育相談センター等が連携しながら進めます。	⑨関係者会議　　１６８回 関係者協議　１,１３６回 所属訪問　　１４２回	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑨ケースが非常に増加している。ひとつひとつが抱える問題が大きく、ケース対応や関係機関の調整に時間がかかってしまう。子ども教育課の中に母子保健・児童福祉が集約されたことにより、情報共有がタイムリーにできるようになった。	⑨きめ細やかな対応を継続していく。家庭訪問や面談の機会を多くし、対面で対応できるようにしていく。	維持	⑨子ども教育課 ~~⑫~~健康推進課
	７　成年後見制度の利用促進	南房総市・館山市・鴨川市および鋸南町の３市１町で設置している「安房地域権利擁護推進センター」（中核機関）において、必要な人に成年後見制度の利用に向けた適切な支援を行います。	⑪安房3市1町で設置した安房権利擁護推進センターと連携し、相談支援や普及啓発、後見人候補者等の支援・マッチング、市民後見人の育成等を推進した。 令和6年度 市長申立数：10件 報酬助成：４件 市民後見人選任：1件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪後見申立てが増加の一方、後見人の担い手不足が懸念されている。特に専門職については安房地域全体で既に不足している。	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課

基本目標3　一人ひとりに寄り添い『未来』へつなげるまちづくり

実現するためにめざすこと	施策・事業	取組内容	令和６年度実績	進捗状況	課題等	Withコロナ アフターコロナを踏まえた事業内容の見直し	今後の方向性	担当部署
３　地域で生活するための環境を整える	１　障害者グループホーム・知的障害者生活ホームに関する助成	グループホーム・生活ホームの運営者に対し、事業に要する費用の一部を助成します。また、入居者に、家賃を助成します。	⑬小規模グループホーム、生活ホームの運営者に対し運営費補助金を助成。また入居者に対し家賃補助金を助成した。 【小規模グループホーム】 運営費補助金　２９事業所 家賃補助金　９１人 【生活ホーム】 運営費補助金　１事業所 家賃補助金　１人	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑬無し	⑬無し	維持	⑬社会福祉課
	２　「母子家庭等自立支援教育訓練給付金」の支給	母子家庭の母、父子家庭の父の自立を促すため、就業を目的とした教育訓練に関する講座を受講し、修了した場合に、受講費の一部を支給します。	⑨母子家庭等自立支援教育訓練給付金 受給者　１人 対象講座　介護福祉士実務者研修	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑨無し	⑨無し	維持	~~⑬社会福祉課~~ ⑨子ども教育課
	３　シルバー人材センター運営への助成	「南房総市シルバー人材センター」の健全な運営と高齢者等の雇用の安定を図るため、補助金を交付します。	⑪高齢者の臨時的かつ短期的就業の機会を確保するため、南房総市シルバー人材センターへ運営費補助金を交付した。 会員数　１８０人	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪令和５年９月に策定された経営改善計画に基づき、会員不足、収入の減少及び高コスト体質を改善する必要がある。	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課
	４　就労・スキルアップ支援事業の充実	市内事業者の社員の専門資格取得、技術向上のための研修受講の支援や市民が就労するための資格や技術を取得することへの支援等を行います。	⑥中小企業人材育成事業補助金 ２０社（者）　１０３人	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑥無し	⑥無し	維持	⑥商工課
	５　新規就農者への支援	就農へ向けた準備段階となる技術、知識などの研修と就農直後の経営の安定化や農地確保等を支援し、新たな就農者を確保・育成します。	⑤-2【市単独補助事業】就農研修支援事業 農業経営体育成セミナー　５人 先進農家等研修　９人 研修生受入支援事業　６人 経営自立安定支援事業　２人 【国庫補助事業】 農業次世代人材投資資金 経営開始資金 令和５年度からの継続　３人 新規　５人	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑤-2総合相談により補助事業や農地紹介等の支援体制を引き続きPRしていく。	⑤-2無し	維持	⑤-2 地域資源再生課
	６　漁業後継者の育成	漁業従事者の減少・高齢化が進むなかで、漁業が持続的に発展していくよう、意欲ある新規漁業就業者を確保し後継者を育成します。	⑤-1新規就業者１２人（個人７人、定置網漁３人、さば・さんま漁２人）	◎計画より進んでいる	⑤-1水産教室に参加した生徒が、漁業の担い手となる人数が少ない。地域おこし協力隊員が退任後も漁業の担い手として定住できるように活動を支援する必要がある。	⑤-1無し	維持	⑤-1 農林水産課
	７　空き家バンク事業の充実	市内の空き家の所有者と利用希望者とを適切に結びつけ、空き家利用促進のため改修費用を助成します。また、「南房総市空き家バンク協議会」と協働で専門的支援を行います。	⑦空き家利用促進奨励補助金　３件 南房総市空き家バンク協議会、南房総市空家等対策協議会などと連携して空き家対策セミナーと空き家相談会を開催し、物件登録に結び付いた。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑦空き家の所有者の少子高齢者に伴い、補助金の交付を受けた場合、空き家を10年間活用することが困難なため、賃貸することよりも売却を選択する所有者が多い。そのため、空き家バンクの利用者登録数に対し、物件数が不足している。	⑦無し	維持	⑦建設課
	８　住宅取得奨励金の交付	若者世代支援・地元業者育成、定住促進と地域経済の活性化を図るため、一定要件を満たす新築住宅取得者に対し、奨励金を交付します。	⑦認定受付　２９件 今年度事業費見込み　２，０６０万円	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑦移住定住施策は、他部署との連携が必要不可欠である。 今後も効果的にＰＲできる連携強化に務める。	⑦無し	維持	⑦建設課